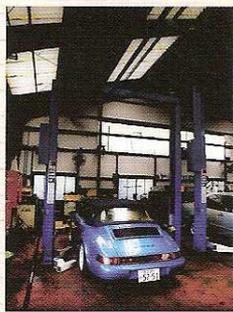


07
こちらがナガセ自動車が誇る職人中の職人。964のメンテを担当してくれる横田さんだ。我が儘言いますがよろしくお願いします。



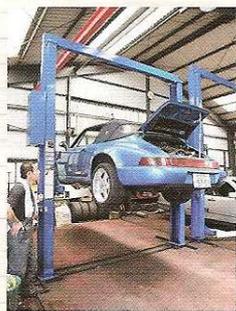
05
いよいよ始まります。ここからリフレッシュ作戦のスタート。こうしてみるとキレイだなあ。直すところあるのか？



03
本店から道路を隔てて斜向かいにあるのがメンテ工場。服部さんの趣味で工場にはマニア受けする輸入車がズラリ並んでました。



01
東京から名古屋にあるメンテ担当SHOPナガセ自動車へとランポ輸送された964カブリオレ。スターターがイカれて自走できません。



08
車両全体をさっと点検するため、リフトにて車体を持ち上げ下回りを見る。緊張の瞬間。



06
取り急ぎエンジンルームなどを開けてみる。すると、ダンパーがヤレていることに気付く。ダンパーは右側に1本だけ付いていた。



04
全部で8つくらいあったかな。整備用のリフト。その内のひとつに964カブリオレを入れます。



02
職人集団ナガセ野郎が総出で押します。手前にいるのはこの企画に賛同してくれたナガセ自動車のマネージャー、ハットリ君…いや服部さん。

広島から東京に陸送された964カブリオレMT車。名義変更を終えナンバーも新しくなっていよいよ本格的なリフレッシュ作業に入る。しかしメンテ工場がある名古屋まで自走しようとした矢先、スターターモーターが壊れた？急遽ランポにて名古屋入りした964。前途多難です。

ポルシェ964カブリオレMT車 Vol.

新車に戻すぞ How Much!

文●半谷範一、エフロード編集部 撮影●森口信之
取材協力●スピードジャパン (tel:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>)
ナガセ自動車 (tel:052-361-6270 <http://www.nagase-jidosya.co.jp/>)

リフレッシュ前に各部の点検 いきなりスターターが壊れた!?

先月号から始まったこのリフレッシュ企画。まず最初はひと通りの油脂類の交換をして、リフトアップしてクルマの状態を把握して…と思っていたのですが、なんといきなり…。

スピードジャパンのスタッフが帰省で使おうと思ったら、セルが空転して始動できなくなっていたのです。どうやらピニオンが飛び出さなくなっているようです。こういうパーツはある意味では消耗品、この年代の中古車ではいつ壊れるか時間の問題といえないこともありません。むしろ出先じゃなくてラッキーと思うべきかもしれません。というわけで、今回はひと通りの現状チェックに合わせて、スターターモーターの交換をすることに。もちろん外したスターターを0日することも出来ませんが、スピードジャパンには新品のスターターが売れるほどあるので、今回は新品に交換することにしました。

この964に関する作業をお願いすることにしたのは、名古屋のナガセ自動車さん。スピードジャパン提携のサービスタッフが大勢いるというところはもちろん、マネージャーの服部さん自身も964オーナーで知識も豊富。そんなことから、今回の企画への協力をお願いすることにしました。以前に996のリフレッシュ企画を行なったときにも登場していただいているので、ご記憶の方がいらつしやるかも知れませんね。

まず最初に簡単にクルマのコンディションを確認したところ、すぐに「これはヤバイぞ」というほどではなかったものの、それなりにやるべき箇所があるという状態。まさに今回のような企画にはうってつけの車両でした。実は以前の企画の996は我々の想像以上に程度が良過ぎてネタに詰まってしまいました(笑)、今回は普通の中古車を買った皆さんにとつて、実際に役立つネタを提供できるでしょう。足回りに関しては、ブーツやボールジョイントが破けているというありがちな状態。ブッシュ類も相応にくたびれてクラックが入っている状態なので、ショックの交換と一緒にリフレッシュすることになるでしょう。

エンジンに関してはやはりオイル漏れが見られます。以前に掲載していた私のクルマでも証明した通り、930ではオイル漏れどころかじみでも故障です。しかし、964の場合は構造や素材の違いもあり、完全にオイル漏れを止めることは(コストパフォーマンスを含めて)現実的ではない部分もあります。よって、今回のオイル交換を機に、実際のオイル消費がどの程度か確認することにしました。

インテリアやエクステリアの作業に関しては、最後の最後に実施することになると思いますが、今回の企画ではなるべくお金をかけずに安く仕上げる方法を探したいと思います。特に高額な費用のかかるソフトトップの張り替えに関しては、アメリカなどで販売されているリーズナブルなキットを購入し、失敗を覚悟？して自分達でやってみようかと考えています。



21

ブッシュがご覧のような状態。全てのブッシュがダメなわけじゃないが、どうせ外すなら全交換だ。



16

下回りを覗くと擦った跡が。まあ、この程度なら大きな問題ではないでしょう。



11

パッと見は綺麗なエンジンルーム。上からだとオイル漏れなど皆無のように見えるのだが。ダンパーが死んでいるのでつかえ棒で対処。



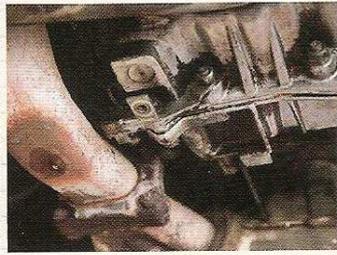
09

アンダーカバーが付いてた! このくらい古いクルマ(90年式)になると、外したままになっているケースが多いんだけどね。



22

このまま乗っていても問題ないレベルだろうが、新車の状態に戻す企画なので足回りは完璧リフレッシュさせます。一体いくらかかるのか。



17

さて、ここが問題。リフトで上げてエンジン周辺を下から覗いてみると…。いろんな所からオイルの滲みが…。このレベルは普通なのか?



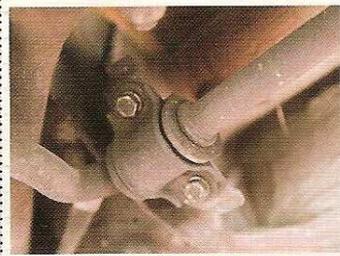
12

ボディ全体のコンディションは上々。リア右側のバンパーにこの程度のキズがあるくらいだ。ここはおいおい考えよう。



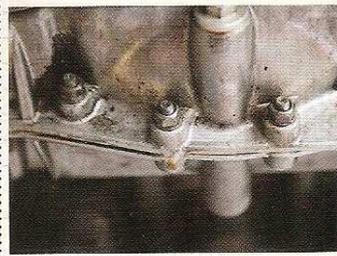
10

外したアンダーカバー。オイルの跡がありますが、このレベルは普通なんではないか?



23

スタビライザーのブッシュは一見問題なさそうだが、よく見ると硬化してひび割れています。



18

滴るほどではないが、明らかにオイルがしみ出ている。問題はどの程度の漏れか。1000kmで1.5Lまでなら許容範囲と言うが…。



13

妙にキャンパーがついていたリアタイヤ。一見問題なさそうだが、よく見てみると…。ちなみにホイールは前オーナーが変更したもの。



担当SHOP



24

930オーナーでもある半谷さんも興味津々で964の下回りを観察。



19

足回りのブッシュ類もダメージを受けている箇所がいくつもあった。これは消耗品なので、全てを新品に交換したいところ。



14

内側が片減りしていたリアタイヤ。車高が若干下がっているようだし、しかも左右のバランスも変な感じ。足回りは全バラしですかね。



25

手前の白いシャツがオーナーであるスピードジャンの小澤さん。心配そうに覗き込んでます。



20

オイルがどこから漏れているのか探さなくては次に進めない。放っておいてもいいが、すぐに対処か、見極めるため後ほど洗浄します。



15

リアに比べフロントのタイヤは問題なさそう。でも心配なのでフロントも一新させたいなあ。

ナガセ自動車

本店:新車中古車センター
名古屋市中川区昭和橋通6-33
tel:052-361-6270
サービス工場
名古屋市中川区昭和橋通6-33
tel:052-361-6271
飛鳥店
海部郡飛鳥村大字梅之郷字宮東9番
tel:05675-2-1300

ナガセ自動車は、ヒュンダイ、三菱自動車、メルセデス・ベンツ、BMW、ボルシェなどの新車・中古車販売と自動車修理、自動車保険、板金、塗装など様々な商品とサービスを提供しているプロショップ。国道1号線を名古屋方面から蟹江方面に向かい、庄内川約2km手前の国道線沿いの北側。「ナガセ自動車」の大きな看板が目印。サービス工場は一本北側の道沿いにある。

41



取材していたみんなの意見として、たぶん雨漏りでやられたんでしょう、が大半。革だけ買って張り替えてみますか！ 自分らで。

36



この縫い目を見ると、どうやら新車時のホロではないのかも。ちなみにリアはガラスではない。ひび割れも濡りもそんなにない。

31



ミラーの状態もいい。擦った跡は皆無。

26



気にしなければ気にならないレベルのホロの状態だが、気にし出すとやたら気になるホロの状態。

42



シフトノブとサイドブレーキのレバーも黒ずんで擦り切れてヤレヤレの状態。塗り直すか交換か迷うところだ。

37



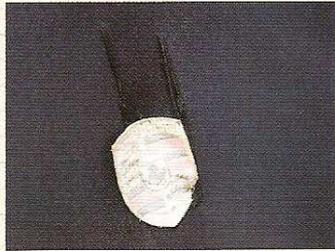
エンジンルーム上端にマスキングの跡が。ホロからの雨漏り対策のようだ。ここも何とかしなくては。

32



ヘッドライトにもくすみはない。

27



上の写真をアップにするとこんな感じ。今のままでも何とか雨も大丈夫だが、やはり最終的にはホロも貼り替えたい。出来れば自分らで…。

43



964のホロって、裏側は骨組丸出しなんですわ。ボロボロに破れてるので、機関部分終わったら速攻で交換ですね。

38



10万kmオーバーのインテリアはこんな感じ。遠目の写真だと奇麗に見えるのだが…。

33



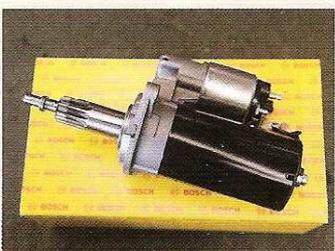
何とフロントガラスに飛び石の跡が。百円玉で隠れる程度の損傷だが、大きくならぬうちにリペアした方が良さそうだ。

28



二分割になっているホロ。至るところにほつれや破れがある。パーツだけ取り寄せて自分たちで交換する方向で調整中。

44



これが今回使用する新品のスターター。ボッシュなんてOHもできるが、時間や手間を考慮して新品に交換することにした。

39



シートはご覧の有り様。でも、10万km程度でポルシェのシートってこんなになりますか？ こんな程度の悪いシート初めて見たよ。

34



フロントボンネット内はどうか？ と開けたらエンジンフード同様にこちらのダンパーも死んでいた。左右に2本。要交換です。

29



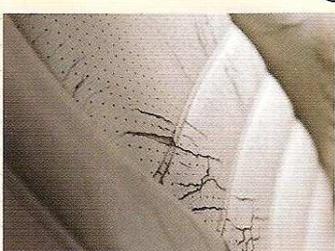
上の写真の逆側も同じように破れてます。走行に問題はないですが、見た目悪いので要交換。

45



スターターはミッションの左側にあるので、そのままジャブドライブシャフトが邪魔で外せない。今回はミッションを傾けて外すという作戦。

40



百歩譲って乗り降りする側が擦り切れるのは分かるとして、なぜ背もたれがこんな状態になるかな。原因は走行10万kmオーバーじゃないな。

35



ホロのカバーが入っていた。こちらは使用感ほとんどなく、常にオープンで走るならホロはいまの状態でもいいのだが…。そうもいかない。

30

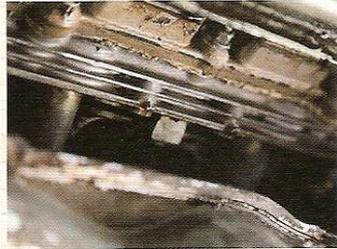


ボディ全体のコンディションはいい。でも細部には細かいキズが。福島の日栄自動車さんに持ち込んで全塗装かな。ピンク色に。



61

各操作系で唯一不具合あったのが助手席の窓の開閉不能状態。調べたら単にスイッチの調子が悪いみたい。買ってきて取り付けるだけ。



56

走行自体に問題なし。フィーリングもいい。ということで戻ってリフトアップして覗いたら新しいオイルが滲んできていた。



51

ちょい乗りの前に各操作系のチェック。エンジンをかけて各スイッチをひとつずつ点検。順調にクリアしていくが…。



46

こんな奥にあるので外すのもひと苦労。右側のドライブシャフトを外してスターターを取り外すというやり方もあるそう。



62

運転席のスイッチは生きてる。なので入れ替えれば助手席が生き返り運転席が死ぬ。スイッチの交換だけで直る。



57

ということで、オイル量を調べておいて、次のメンテまでに走り回る。その距離数と消費オイルの量で対策を考えることに。



52

リアスポイラーもスムーズに上下します。



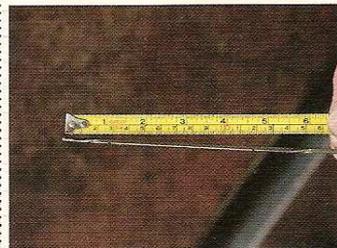
47

これが外したスターター。実はテストしたときにギヤーという速く嫌な音がしたんで、一瞬フライホイール側の破損が頭をよぎったけれど…。



63

笑える。責任感あるナガセ野郎! こういうショップに任せたら安心。国産はもちろんのこと、輸入車にも滅法強いプロ集団。



58

ディップスティックで図ったところオイル量は6.5cm。1cmが約1ℓなので、小澤さんには1000km走ってもらおう。1.5cm以上減っていたら問題有りだ。



53

問題のホコリ開閉作業に入ります。まずはジッパーで閉まっているリアのウィンドウを開放。内側に折り畳んでスイッチオン!



48

良かった。直結してみたら、やっぱりピニオンギアが飛び出さない。これならスターターの交換だけで大丈夫だ。助かったあ。



64

マネージャーのハットリ君…じゃない服部さんがナガセ自動車のメインキャラクター? 当分お世話になります。よろしくお願ひします。



59

服部さんが走って感じたクラッチの重さ。確かに異様に重い。その原因を突き止めるため930オーナー半谷さんの出番。



54

途中バキッとかボキッとか嫌な音がした。どっかイットか? 閉め直し、再度スイッチオン! 何となくスムーズに開きました。でも怖い。



49

外した部品と比べてみたら、ひと回りコンパクトになっている。ボルシェのパーツもどどん新しい品番に統合されているのだ。

■現在の走行距離
2012年9月20日現在:10万5467km
今月の走行距離:978km

■今月の維持費

●車両本体価格	1,980,000円
●消費税	72,500円
●月割自動車税	48,700円
●リサイクル預託金	14,100円
●広島からの陸送費	34,125円
●名変費用	20,840円
●部品代	
スターターモーター	55,440円(税込・SJ価格)
※純正価格118,650円(税込)	
PWスイッチ	5,239円(税込・SJ価格)
※6,667円(税込・純正価格)	
●工賃	
スターターモーター交換	18,900円(税込)
※ディーラー価格24,000円~26,000円(税込・店舗により異なる)	
●合計	2,249,844円



60

カーペットを割くとこんな感じ。スプリングの不具合かと思ったが、短時間では原因分らず。次回に持ち越し。半谷さん100円見つけた。



55

自身964オーナーでもあるマネージャーの服部さんがステアリングを握り走行チェック。この10万kmオーバーの964カブリオレ、どうですか?



50

スターターモーターの交換も終わり、下回りの洗浄。オイルを洗い流し周辺を走り、どこから滲んでるのかを確認します。